

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3-1

令和6年1月17日

協議会名: 田原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業/地域内フィーダー系統

Table with 6 columns: ①補助対象事業者等, ②事業概要, ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況, ④事業実施の適切性, ⑤目標・効果達成状況, ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む). Rows include '補助対象となる事業者名等の名称を記載' and '豊鉄ミディ株'.

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月17日

協議会名:	田原市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業／地域内フィーダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>[将来像]だれもが安心して移動できるまち</p> <p>[取組姿勢]協働で“つくり・守り・育てる”公共交通網</p> <p>[全体目標]まちづくりの基盤となる公共交通の確立</p> <p>【実現目標】</p> <ul style="list-style-type: none">○多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現 ⇒移動の安全性の向上、移動手段の選択肢拡大を目指す。○まちづくりを促進し、まちの魅力を高める公共交通の実現 ⇒定住・交流人口の拡大、都市形成の推進・都市機能の維持向上、環境共生・福祉など地域課題の解消、観光・商業など地域活力の向上を目指す。○市民の幸福に貢献する公共交通の実現 ⇒潤い豊かな暮らし方の実現を目指す。 <p>【公共交通網】</p> <ul style="list-style-type: none">○「幹線乗合交通」を基軸とし、その範囲外を「コミュニティ乗合交通」「有償パーソナル交通」「政策交通」が順次補完(役割分担・連携)し、更にこれらを企業送迎・助け合い活動が補うことで市民等の移動を確保する。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

田原市 地域公共交通計画の評価等結果（令和4年10月～令和5年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市内公共交通利用者実績数を平成28年・29年並みの165万人を維持する	路線カルテの作成及び地域との協議	沿線公共交通機関の有する乗降データを用いて計測	<ul style="list-style-type: none"> ・126.4万人（令和4年4月～令和5年3月） ※第2次田原市地域公共交通戦略計画の目標に合わせて4月から翌年3月末までとしている。 ・利用者数は人口減少の影響や生活様式の変化のため、前年度より若干増しているが、以前のような数字となることは難しい状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証自主返納事業、高校生通学バス定期券購入助成を継続実施 ・東三河地域と連携した広域的な利用促進を継続実施 ・現在の生活様式に対応した公共交通の在り方の検討を実施 ・引き続き、伊良湖支線等の路線バスの運行について運行事業者及び沿線地域と連携して利用者数の減少を止めるような取組を実施 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証自主返納支援事業の実施 ・コミュニティバスの1年間無料乗車券の交付 ・豊鉄バス元気バス引換券の交付 ・たまぼカード1,000ポイントを交付 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生バス通学用定期券購入助成の実施 ・豊鉄バスの通学定期購入費に対して3割を助成 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の継続 ・交通ガイドブックの作成・配布 ・多言語版バス乗り方情報作成 				
	小学生以下を対象に、路線バスに親しんでもらうイベントを実施。				
	エリア版MaaSアプリを活用した企画きっぷの造成				
	東三河地区で連携した取組（東三河地域公共交通活性化協議会での取組） <ul style="list-style-type: none"> ・50円バスの実施 ・バス整理券ラリー&どう解く家康謎解きゲームの実施 				
田原市ぐるりんバスの1便当たり利用者数を5.0人以上にする	<ul style="list-style-type: none"> ・ラッピング車両の導入周知活動の実施 ・ぐるりんバスのラッピング、オリジナルペーパークラフトの作成及び配信 	ぐるりんバス乗降データを用いて計測	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地線：4.9人/便 ・童浦線：7.4人/便 ・サンテパルク線：4.4人/便 ・童浦線は、目標達成。目標未達の2路線についても回復傾向。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域版MaaSアプリ等と連携し、DX等の技術を活用した利用促進の継続 ・QR決済の導入による利便性の向上 ・引き続き関係機関と連携した利用促進策等を実施し、官民一体となった「守り育てる」公共交通利用促進事業を検討 ・路線カルテを用いて路線ごとの利用実態を検証し、地域と利用促進策を検討し実施 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の継続 ・交通ガイドブックの作成・配布 ・多言語版バス乗り方情報作成 				
田原市ぐるりんミニバスの1便当たり利用者数を3.0人以上にする。	ぐるりんバス中山線の路線延伸の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・表浜線：3.3人/便 ・中山線：2.2人/便 ・表浜線は、目標達成。中山線の利用者はほぼ減少傾向。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停ごとに利用者の分析を行い、利用実態に合わせて、変更が必要な場合は随時ダイヤ・ルート等の変更を実施 	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。